

日本労働年鑑 第52集 1982年版
The Labour Year Book of Japan 1982

序章 国際・国内情勢と労働問題の焦点

4 労働運動の特徴

(2) 労働戦線統一問題

「戦線統一」問題の重要化

この一年の労働運動の動向をみる場合、労働戦線統一問題が新たな重要性を帯び、動いていることを見落とすわけにはいかない(この問題の重要性にかんがみ、本年鑑では「特集」として、「労働戦線統一問題」を組んだ。したがって、くわしくはそちらにゆずる)。したがって、ごく簡潔に、問題の動向を記しておこう。

今日の労働戦線統一問題は、六〇年代末から七三年半ばにかけて展開された「戦線統一」運動が挫折し、その後しばらく影をひそめていたのち、七八年初頭から本格的に抬頭したものである。

これには、低成長移行下における春闘の「様変わり」、そのなかでのJC(金属労協)集中決戦の強化、賃闘対策民間労組会議の発足(七七年)、民間大単産による政策推進労組会議の結成(七六年一〇月)、中立労連と新産別の連けい強化(七九年三月、総連合結成)などの、いわば舞台装置づくりがともなっていた。そして一方で、「戦線統一」論議が活発化すると同時に、他方、七九年九月の総選挙を契機とする総評の「社公中軸路線」への転換、および、これにたいする共産党の影響力の強い統一労組懇の批判、活動の活発化といった事態をともなうに及んで、「戦線統一」問題はいつそう複雑化し、かつ重要性を増した。

「労働戦線統一推進会」と「基本構想」

八〇年九月三〇日には、その前に塩路自動車総連会長の提唱した「統一準備会」の前段としての「統一を進める会」が、総評、同盟、総連合、純中立の団体・グループを「カヴァー」する代表六名を構成メンバーとして、「労働戦線統一推進会」の名のもとに発足し、「戦線統一」運動は新たな段階に達した。ちなみに、代表六名とは、つぎのメンバーであった。中村卓彦鉄鋼労連委員長(総評)、中川豊全日通委員長(総評)、宇佐美忠信ゼンセン同盟会長(同盟)、橋本孝一郎電力労連会長(同盟)、豎山利文電機労連委員長(総連合)、塩路一郎自動車総連会長(純中立)。

この統一推進会は、その目的を「民間労組の統一を推進すること」におき、のべ三回にわたる会合をつみかさねた。そのなかで、(1)統一体の性格をゆるやかな協議体または共闘組織的性格とする、(2)統一推進会で民間統一に必要な重要課題について相当部分につめ、八一年夏の単産定期大会に前向きの中間報告ができるよう努力する、(3)八一年内に統一準備会を発足させるよう努力する等を確認した。

統一推進会は、その会合をつみかさねるなかで、八一年五月一日、「民間先行による労働戦線統

一の基本構想」を公表するにいたった。それは、(1)運動の基調(理念)、(2)情勢の基本認識、(3)統一の必要性と目的、(4)統一の進め方、(5)全的統一への展望よりなり、全体として、「この指とまれ」方式の性格をもつが、同時に統一労組懇の排除など反共・選別結集の性格をも備えていた。

こうして以後、事実上この「基本構想」が、各関係方面の論議の中心となった。

「基本構想」をめぐる諸潮流

この「基本構想」については、当然いくつかの異なった対応、評価が見られる。同盟、夏の各単産の大会、総評大会等をつうじ、あえて分ければつぎの四つになる。

(1) 積極賛成・推進派 「基本構想」提唱にかかわる単産はいうまでもないが、同盟も大筋において「評価」し、統一準備会参加の方向を打ち出している。

(2) 条件つき賛成・対応派 総評大会等をつうじ、総評の五項目補強意見をよりどころに、いわば条件つき賛成・対応派は数を増した。ただ、そのなかには、かなりの幅があるし、今後の状況の推移では、さらに分かれることもありうる。

(3) 批判的対応派 統一労組懇をのぞくと、総評系では、紙パ労連、その他中小民間単産、地域組織など。さらに一部をのぞく官公労。

(4) 全面的批判派 統一労組懇を最左翼に、動労、国労などだが、総評の補強意見との関係などでは異なる。

いずれにしても、この「戦線統一」問題をめぐって、総評は、夏の大会につづき、一一月に臨時大会をひらき、態度をきめようとしており、また「基本構想」にいう「統一準備会」の発足も一二月一四日に予定されているのが本稿執筆時点の状況である。そうした点でも、八一年秋の諸動向が注目される。

日本労働年鑑 第52集 1982年版

発行 1981年11月30日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

2001年9月18日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1982年版(第52集)【目次】 次のページ → ■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)
